

キャラクター名
リンネ・ベルリオーズ

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハイロウ ブラックドッグ	ワークス	UGNエージェントD	カヴァー	UGN特殊感染症対策部 秘書
オプション		年齢		性別	
覚醒	素体	衝動	吸血	初期侵食率	68 %
出自	疎まれた子	経験	大恋愛	邂逅	恩人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	541
肉体	2	0	0		5	7	行動値	25
感覚	4	0	0		5	9	(非装備時)	25
精神	2	0	0		5	7	戦闘移動	40
社会	0	1	0		5	6	全力移動	80

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC	1		交渉	1	
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
素手	白兵	10r-1	14	27		
素殴り	白兵	10r+13	14	27		
隠密時	白兵	11r+13	14	70		
アバウト使用時	白兵	18r+13	14	85		DB適用済み

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
完全義体		10			

所持品	
特殊装甲義肢	
完全義体	
マテリアル: 心臓	
マテリアル: 肺	
マテリアル: 脊椎	

合計装甲: 10 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
秘密兵器	P	N		
フェル・ソフィーティア	P	N		
ティナ・S・ハミルトン	P	N		
テレーズ・ブルム	P	N		
ゼーレ・フェレライ	P	N		
紅雪	P	N		
うぐいす	P	N		

最大財産P: 14 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
光と闇の眼	1	-	常時	至近	//	//	-	
効果: 隠密を対象に取れる								
デスストーカー	5	-	//	//	//	//	リミット	
効果: 隠密時攻+(LV×4)								
サイバーアーム	10	-	//	//	//	//	-	
効果: 素手攻+13、ガード値5								
サイバーレッグ	5	-	//	//	//	//	-	
効果: 戦闘移動距離+10m								
レネゲイドライフ	5	-	//	//	//	//	-	
効果: HP+500、侵食ボーナスのワイトLVUP								
異形への変貌	1	-	セットアップ	//	//	//	-	
効果: シーン間、侵食ボーナスD×2								
ヴァイタルアップ	1	-	//	//	//	//	-	
効果: HP+(侵食値-100) 1対1回								
無明の世界	1	-	//	視界	シーン	//	-	
効果: 全ワイトが自エナジーでしか使用								
高速再生	6	-	クリナッポ	//	//	//	-	
効果: HPを(LV×20)回復 1対3回								
陽炎の衣	3	3	マイナー	//	//	//	-	
効果: 隠密化 接触してても可 1対LV回								
アンバウンド	3	2	//	//	//	//	リミット	
効果: 戦闘移動する。メイン間攻+(LV×3)								
アタックプログラム	5	2	Xジャー	武器	-	対決	-	
効果: 判定達成値+(LV×2)								
バリアクラッカー	3	4	//	//	-	//	80↑	
効果: ガード不可 装甲無視								

「英雄について、ですか。これはまた一般的には難しい問いですね。……ああ、フェルに対しては同じ質問を？彼女の場合は独自理論を重ねていくタイプなので答えは『存在しない』でしょうね。ただ私の場合は答えがはっきりと決まっていますよ。私の答えはもちろんフェルとティナの二人です。彼女たちがいなければ私は、私のコピーと戦い続けなければならなかったのですから」

「私は元々実験体なのです。このモルモットだったかは古すぎて覚えてませんが。私は生まれてからずっと私のコピーと戦い続ける運命でした。そしてコピーは私の戦闘データによってフィードバックされさらに強化されていき、私も強くなっていったので両方が強くなってまた戦い強くなって、というループを繰り返していきました。そして私はその強大すぎる戦闘力から兵器運用できないとされて古代遺跡に封印されました。まあ、自分で動いて近隣の町の襲撃から守っていたのを見られたというもありましたし、その近隣の住民から星遺物として崇められていたというもあったのでしょうか。なのでジャーム化した私のコピーを兵器として運用して、オリジナルである私は星遺物と崇められる対象として当時の古代遺跡の奥深くに、封印を解こうとしてもいくつもの強力なセキュリティを突破しないといけないようにして封印されました」

「それから100年ぐら経った頃ですかね。フェルとティナが封印を壊してくれた上に私のコピーも殺してくれました。その上で名前も載きました。私の人間としての生活は助け出されてから始まったんですよ。だからフェルとティナの二人は私にとっての英雄なんです」

□□□□フェルとティナの黒歴史VTRより

怪物を生み出し兵器として運用し戦闘という戦闘全てに勝利するという計画、通称「未来改竄勝利化計画」で産み出された輪廻シリーズのオリジナル。人体構造に生身の人間と一致する場所はなく、脳も含めて全てが機械化しているアンドロイドの少女。ただし触感などは全て人間と同じである。動力は主に電気だが、全力での戦闘時にはフェルとティナの血液を要求する。

コードネームは光速で動き、そのリズムが相手にとってレクイエムに聞こえるから。

